

報道関係各位

2017年 4月 26日  
サイレックス・テクノロジー株式会社サイレックス・テクノロジー、高速 DFS 技術搭載の 11ac アクセスポイントを発表  
～屋外でレーダー検波時も、安心して使える無線 LAN 製品をメニューに追加～

サイレックス・テクノロジー株式会社(本社：京都府精華町、代表取締役社長：河野 剛士、以下 サイレックス)は、標榜する「切れない無線」製品ビジョン追求の一環として、高速 DFS 技術を搭載した IEEE 802.11ac 対応アクセスポイント「AP-511AC」を発表しました。AP-511AC は、無線 LAN の 5GHz 帯運用で従来課題とされていた DFS チャンネルの完全利用を可能にした画期的なアクセスポイント製品です。戦略パートナー企業の Ignition Design Labs, Inc. (本社：米国、以下 IDL 社) の高性能 DFS 監視・回避技術を採用、運用中の AP-511AC が外部レーダー波を受けても瞬時のチャンネル切替えを行い、W53～W56 帯域のシームレスな無線 LAN 利用を可能にします。

今後、サイレックスは、屋内・屋外を意識せず無線 LAN の構築・運用を実現できる AP-511AC をアクセスポイントショーケース製品に加え、重点市場と位置付ける産業・医療・エンタープライズ分野の業務用途の OEM・組込みアクセスポイント事業を更に強化します。

本製品は、第 6 回 IoT/M2M 展(会場：東京ビッグサイト 会期：2017年 5月 10日～12日)で国内初の公開デモンストラレーション出展が予定されています。

## ◆従来の 5GHz 帯域での DFS 対応課題

現在日本で利用が可能な 5GHz の周波数帯域は、W52 と呼ばれるチャンネル 36-48 の Wi-Fi 専用帯域と、W53/W56 と呼ばれるチャンネル 52-64、100-140 の気象レーダーや航空レーダーなどのレーダー優先帯域である DFS 帯域 (DFS: Dynamic Frequency Selection=動的周波数選択機能) があります。

後者の DFS 帯域では、気象レーダーや航空レーダーが優先されることから、無線 LAN 通信に使用する前に 1 分間レーダーが利用していないことを確認してから通信を開始する必要があります。また万が一レーダー波を検知した場合、直ちに当該チャンネル使用を停止したうえで DFS 帯域の別チャンネルに移動し、その新しいチャンネルで 1 分間レーダー波が検知されないことを確認してから通信を開始することが電波法で義務付けられています。このことから、従来の無線 LAN 製品では、DFS 帯域使用時にレーダーを検知する度に 1 分間無線 LAN サービスが切れる可能性がありました。

## ◆AP-511AC の 5GHz 「切れない無線」解決アプローチ:

AP-511AC は、前述の課題を解決するために、IDL 社の特許技術を採用、アクセスポイントの Wi-Fi 通信から独立した監視機構を用いて常時レーダー波を監視することで、レーダー波が検知されても Wi-Fi 通信を維持しながらシームレスに別のチャンネルに移動する動作を実現、連続した無線 LAN サービスを提供することを可能にしています。



高速 DFS 技術搭載 11ac 対応アクセスポイント AP-511AC

製品スペック			
型番	AP-511AC	有線LAN	
無線LAN		インタフェース	RJ-45 × 1Port
規格	IEEE 802.11ac/a/b/g/n 3Tx3R (理論値1.3Gbps)	規格	10/100/1000Base-T(自動認識), PoE(802.11af 準拠)
対応チャネル	2.4GHz帯 : 1~13ch 5GHz帯 : W52/W53/W56 (W53/W56はDFSに対応) ※1	環境条件	
アンテナ	外付け5GHz 3x3 MIMOアンテナ × 1 内蔵2.4GHz アンテナ × 2	保存条件	保存温度 : -10~50℃ 保存湿度 : 20~90%RH (結露なきこと)
最大接続数	200台	動作条件	動作温度 : 0~40℃ 動作湿度 : 20~80%RH (結露なきこと)
子機接続管理	時間制限によるアクセスポイント公平利用設定	その他	
Multi SSID	8個 (5GHz : 4個、2.4GHz : 4個)	最大消費電力	9W (DC12V 0.75A)
リピータ機能 (WDS)	対応 (推奨台数 : 4台) ※2	外形寸法	200mm × 145mm × 35mm (アンテナ、ゴム足除く)
		重量	405g (本体のみ)

サイレックスは、本 AP-511AC の技術公開デモンストレーションを、国内で初めて第 6 回 IoT/M2M 展サイレックスブースで (会場 : 東京ビッグサイト 会期 : 2017 年 5 月 10 日~12 日) 実演します。

そのほか、「マルチレイヤー・エンベデッド」をテーマに、ノードエッジからクラウドまでトータルに、「切れない無線」ビジョンを軸にした IoT プラットフォーム製品群を多数展示予定です。

◆第 6 回 IoT/M2M 展 [http://www.silex.jp/event/iotm2m\\_2017.html?pr=170426](http://www.silex.jp/event/iotm2m_2017.html?pr=170426)



サイレックス・テクノロジーについて <http://www.silex.jp/index.html?pr=170426>

サイレックス・テクノロジー株式会社(本社 : 京都府精華町)は、機器をネットワークやワイヤレスにつなげるハードウェア・ソフトウェアの技術を核とした研究開発型企業です。

プリンタや MFP といった OA 機器やワイヤレスルータなどの PC 周辺機器をはじめ、医療機器・産業機器など確実な接続性が求められる機器にもネットワークやワイヤレスのノウハウを活かした製品を提案し、ビジネスの幅を広げています。品質基準を厳格に保つため、設計・開発・生産・品質保証といった一連のプロセスを「けいはんな本社」に集約しています。海外パートナーとの連携や新市場開拓、新技術の情報収集・開発などグローバルなビジネス展開のため、北米・欧州・中国・インドに拠点を設けています。

・記載された社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。

【本プレスリリースに関するお問合せ先】

■サイレックス・テクノロジー株式会社

PR 担当窓口 : 経営企画部

E-mail : [press@silex.jp](mailto:press@silex.jp)

Tel.0774-98-3781 Fax.0774-98-3767



Twitter : @silex\_marcom

[http://twitter.com/silex\\_marcom](http://twitter.com/silex_marcom)



Facebook :

<http://www.facebook.com/silexjp>

